

ネットワーク友枝 第5回さあ行こう！まち歩き会 さわやかな秋空の下、大平山へ

9月23日(祝)に、ネットワーク友枝のまち歩きを開催しました。今回で5回目となるこのイベントには、地域内外から61名の参加がありました。中でも、内藤武紘さん(東上)は、第1回から今回まで欠かさず参加してくださっていて、事務局から記念品贈呈を行いました。

この日のコースは、有田の林道をスタートして九州自然歩道に連絡する山道をひた歩き、県境に位置する大平山(597m)山頂を目指す約2kmでした。大平山展望所やキャンプ場等の観光施設は大部分県側にありますが、途中、大平村史にも記載がある「お菊の墓」の由来や、アケビをはじめ、ヤマボウシにヤマイチゴなどの自然の恵みにふれ、参加した皆さんは大変喜んでいました。特にアケビは大好評で、木によじ登って実を採る参加者の姿に人だかりができていました。まち歩きは、自分たちの足元を見つめ直す良い機会となっています。



お囃子嫩 町内外の秋祭りで大活躍

10月30日(日)、たいへい苑で行われた「第一回敬愛会文化祭」のオープニングセレモニーでお囃子を演奏、会場を大いに盛り上げました。あいにくの雨模様のため、会場は屋外広場から施設内に移りましたが、入苑者・職員・来賓の皆さんとともに「楽しく楽しく」過ごしてまいりました。他にも、新吉まつりをはじめ、上毛町文化祭、土佐井貴船神社秋大祭、豊前サンビレッヂ秋祭りに出演。衣装も新たに製作し、活躍の場も広がっています。



吉岡交流会 地域住民の交流ものづくり

8月18日(木)10時から吉岡公民館で、新聞紙を使って、エコバックとコサージュを作りました。新聞紙は図柄の良いところやタレントの写真などを用意して、子どもたちにも大変好評でした。コサージュは指先を使うことなので皆さん集中して真剣に作っていました。新聞紙とは思えないとても素敵な作品ができました。



よらんかい 物産展でPR活動

今秋、福岡市等で開催された3つの物産展に参加し、特産品の販売や観光パンフレットの配布を通じて地域づくり協議会のPRを行いました。

10月29日(土)から30日(日)にかけて天神中央公園で開催された「ふくおか町村フェア」では、創作した名物料理「こげなもん(米粉たこ焼き)」や「あげなもん(猪肉入りコロッケ)」のお披露目をしました。あいにく両日とも雨に見舞われ、会場を訪れる人は疎らでしたが、積極的に来場者の方に呼びかけました。例年行列ができる「上毛鍋(猪肉と米粉団子入りの大鍋)」も、この日は勢いに乗れず、他の出展ブースの方々へ試食してもらうなど工夫しながらPRに役立てました。



また、11月6日(日)に豊前市の多目的文化交流センターで開催された「京築神楽と食の祭典」でも、上毛鍋をはじめ、こげなもん、あげなもんを販売しました。朝から降り続いていた雨は昼過ぎに上がり、出展ブースは神楽の見物客を中心にたくさんの人で賑わいました。

11月19日(土)にリバーウォーク北九州で開催された「京築フェスタ2011」では、手づくりの看板などで装飾したブースが通行人の目を引き、こうげマンやチェリー&コスミーと一緒にイベントを盛り上げました。この日は、田舎の雰囲気を醸す芋もちや、香りの良い炭火焙煎のコーヒーが大好評でした。



春日市第10回白水ヶ丘ふれあい文化祭

春日市で上毛町をPR

春日市在住で上毛町ファンクラブ会員の野田敬太さん(白水ヶ丘地区自治会副会長)の粋な計らいで、よらんかいと築上東Music-Lovers'が、11月20日(日)に開催された白水ヶ丘ふれあい文化祭にゲストとして参加しました。

参加は、昨年に続き2回目となりました。よらんかいの木工体験は大好評で、今年もすぐに親子連れでいっぱいになりました。築上東Music-Lovers'は、ゲスト出演に「緊張しています」と話していましたが、会場内には心地よい演奏が響き渡り、白水ヶ丘の皆さんも笑顔と手拍子で応えてくれました。

当日は、こうげマンも駆け付け、子どもたちの熱い視線を浴びながら町のPRに奮闘しました。また、東上の棚田米を持ち込んで販売したところ、あっという間に完売するほどの人気ぶりでした。会場を訪れていた方々からは、上毛町に関する質問も相次ぎ、「上毛町で農家民泊ができるなら、是非参加したいです」など、うれしい言葉もいただきました。

